

# イスラエルの回復のために祈りましょう

## イスラエルのクルド系ユダヤ人

人口: 100,000 人

■国家のない民族の中に、また国家のない民族がある、ということを想像して見ていただきたい。これはクルド系ユダヤ人のことである。何百年もの間、クルド系ユダヤ人はクルディスターンの山脈地帯で生活してきた。この地域は、イラン、イラク、トルコという、南西アジアの3カ国にまたがっている。クルド人は何世紀もの間、自分の国家を持つために戦ってきたが、クルド系のユダヤ人はその中でも少数派的な存在である。20 世紀になると、多くのクルド系ユダヤ人が、彼らの母国イスラエルに移住する、という目的意識を持つようになった。現在、イスラエルには、10 万人のクルド系ユダヤ人が住んでいる。

■クルド系ユダヤ人は書物の記録をほとんど残していないため、世々にわたり、その伝統は言い伝えによって受け継がれてきた。クルディスターンの最初のユダヤ人は、紀元前 722 年ごろ、アッシリヤ人がイスラエルを征服した時に捕囚としてやってきたことが一部の学者によって確証されている。ということは、クルド人の中に、失われた十部族が含まれている可能性があるとも言える。


■十字軍の時代、つまり西暦 1096 年以降、クルディスターンは、パレスチナから逃げてきた多くのユダヤ人にとって、絶好の避難所であった。モースルという所には最も大きなユダヤ人共同体があり(総数7千人)、13 世紀にある程度の自治権が認められた。しかし、この比較的豊かで平和な時代も長続きはしなかった。クルディスターンでは、異なる政府や民族の間に紛争が絶えず、地域全体が混乱の中にあった。その結果、イスラム教徒もキリスト教徒も、ユダヤ人もこの地域から離れていき、多くの町やシナゴグは解体してしまった。かつては非常に繁栄していた町も、二、三のユダヤ人の家庭があるだけとなってしまったのである。

■クルド系ユダヤ人は、20 世紀の初めから、少数ながらもイスラエルへの移住を続けてきた。彼らは家族や共同体ごとに移り住み、1950 年から 51 年にかけて、イラク国

内にいるクルド系ユダヤ人のほとんど全員がイスラエルに帰還した。最近の報道で、約 50 家族がイラクに残されていたということが分かり、彼らの消息はいまだに途絶えたままである。

■クルド系ユダヤ人は、エルサレムに対する深い愛情を抱いているため、イスラエルに帰還すると、大部分の人々がエルサレムとその近辺の町々に住んだ。しかし、ハイファの近くの田園地帯、それにヨルダン川流域に定住し、農業の知識を生かして生計を立てている人もいる。クルド系ユダヤ人は当初は貧しかったため、家の雇い人となったり、肉体労働をしたりするしかなかった。しかし、彼らは大変勤勉であったので、一部の人たちは大成功を収め、建築会社やホテル、レストランなども所有するようになったのである。また、軍部・政府で高官になった人もいる。

■クルディスタンにいた時、クルド系ユダヤ人のユダヤ教信仰は、周りの民族から心霊主義の影響を受けたために、魔よけやハーブを使った宗教儀式が入り混じってしまった。また、クルド系ユダヤ人は家族を大事にし、来客を温かくもてなすことで知られている。



## 祈りの課題

☆ イスラエル、あるいはクルディスタンにいるクルド系ユダヤ人に、救いが訪れるように。

☆ クルド系ユダヤ人の生活の豊かさが保たれ、イスラエルの地で祝福され、さらに繁栄するように。

☆ クルディスタンの混乱した歴史から生じた、彼らの恐怖心を、御霊の愛が取り除いてくださるように。

☆ 彼らがクルディスタン時代に負ってしまった傷や、いやな記憶が癒やされるように。

☆ クルド系のユダヤ人が、神が彼らに用意してくださっているすべてのことを受け入れ、それに沿って歩むことができるように。

☆ クルド系のユダヤ人がメシアを信じる人々と出会い、そして福音のよい知らせを聞き入れる心が整えられるように。

☆ 彼らのユダヤ教信仰にしみ込み、悪影響を及ぼしている心霊主義に立ち向かって。

